

# 電子ファイル-MAC連携ツール<sup>\*1</sup>

富澤 實<sup>\*2</sup> 多田 浩明<sup>\*3</sup>

## The Link Tool between Electric Filing System and Macintosh

Minoru Tomisawa Hironori Tada

### 1 はじめに

オープン化、ダウンサイジング化の流れの中で、オフィス内には、パソコンが増え、パソコン LAN が普及し、パソコンを活用した業務の効率化が注目を集めている。こうした中で、従来の図面や技術ドキュメント等の貴重な資産を新しい環境の中で活用したいというニーズが高まっている。川鉄情報システム(株)では、このニーズに応えるべく、電子ファイルシステム (Panafile<sup>\*4</sup>) と Macintosh<sup>\*5</sup> を連携する「電子ファイル-MAC 連携ツール」を開発した。

### 2 電子ファイル-MAC 連携ツールの概要と特徴

#### 2.1 ツールの概要

システム構成を Fig. 1 に示す。電子ファイル-MAC 連携ツールは、PanacILKS<sup>\*6</sup> のクライアントとして動作するツールである。

このツールを利用することによって、Macintosh から PanacILKS を経由して Panafile にファイリングしてあるイメージ情報を検索し、検索したイメージを表示したり、LAN 上の Macintosh プリンタに出力することができる。また、Macintosh の高度な GUI で、検索したイメージを他のアプリケーションにコピー (コピー&ペースト) したり、Macintosh 内に取り込むことができる。

#### 2.2 ツールの特徴

##### (1) イメージ表示機能

イメージの拡大 (2 倍)、縮小 (1/2 倍)、回転 (左右 90 度、180 度) して、元のイメージを見やすくできる。また、表示するイメージが画面内に収まらない場合でも、高速にスクロールして全体のイメージを見ることができる (Fig. 2)。

##### (2) プリント機能

表示しているイメージを LAN 上の Macintosh プリンタに出力できる。プリントの解像度は、Panafile に保存しているオリジナルの解像度 (400 dpi まで) でプリントすることがで

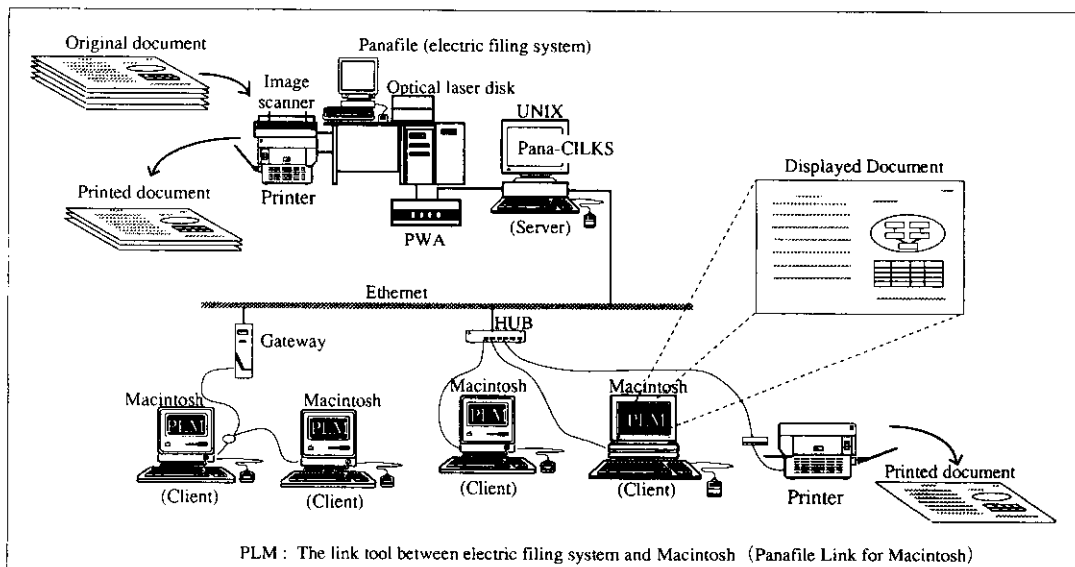


Fig. 1 Overview of the link tool between electric filing system and Macintosh

<sup>\*1</sup>平成7年5月15日原稿受付

<sup>\*2</sup>川鉄情報システム(株) 鉄鋼システム事業部水島事業所 主任部員(次長)

<sup>\*3</sup>川鉄情報システム(株) 鉄鋼システム事業部水島事業所

<sup>\*4</sup>Panafileは、松下電器産業株式会社の登録商標です。

<sup>\*5</sup>Macintoshは、Apple Computer Inc.の登録商標です。

<sup>\*6</sup>PanacILKSは、松下電器産業株式会社の登録商標です。

Table 1 System component and running environments

System component	Hardware		Software
Panafiler (Electric filing system)	PF8050 PF3000	PWA (personal computer work-station adapter)	Basic software for Panafiler
PanaCILKS (Panafiler code & image link system)	SUN PanaStation	Memory 48 MB Hard disk 1 GB	SunOS 4.1.2 or 4.1.3 or Solaris2.X JLE 1.1.3 Rev.C Japanese Open Windows 2.0.1 PanaCILKS IWS(image server work-station)
Macintosh client system (The link tool between electric filing system and Macintosh)	Macintosh	CPU : 68030, 68040, Power PC Memory 12 MB Hard disk 80 MB 17" monitor(recommend)	MacOS System 6.0.7 MacOS KANJI Talk7 7.1 MacOS KANJI Talk7 7.5 MacTCP Fixed width MINCHO font

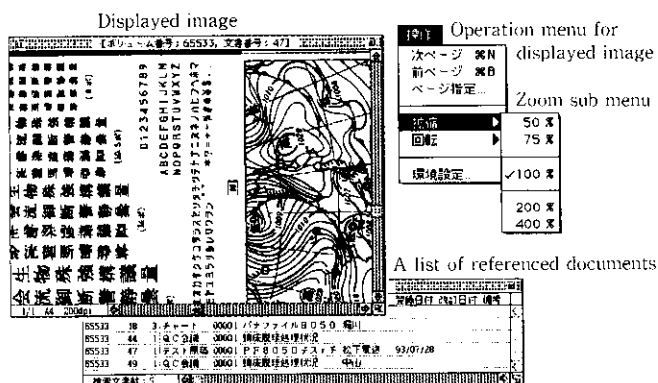


Fig. 2 An example of image displays

きる。用紙サイズや解像度の仕様が、Macintoshのプリンタ仕様に適合しない場合は、MacintoshからPanafiler本体に接続しているプリンタに出力を要求することができる。

### (3) 検索機能

Panafilerが提供する検索機能をそのまま、Macintoshから指示することができる。キー間の論理関係(and, or), 前方一致, 後方一致など、あいまい検索が可能である。

### (4) 操作性

操作性は、優れたMacintoshのGUIをベースにしている。マウス、プルダウンメニュー、コマンドキーなど、Macintoshの標準的な操作方法で簡単に利用できる。

## 3 適用機種と稼働環境

当ツールは、Panafiler本体、PanaCILKS(サーバシステム)の下で動作するツールである。Panafilerは、PWA(Personal Computer Work-Station Adapter)が接続できる機種が必要である。PanaCILKS(サーバシステム)は、SUN等のUNIX機上で動作するシステムである。当ツールを導入するためには、これらの動作環境が必要である。Macintoshは、イメージを扱っているツールであることからCPU能力の高い機種を推奨する。また、ディスプ

レイ装置は、17インチ以上を推奨する。具体的な適用機種と稼働環境をTable 1に示す。

## 4 適用事例と活用の方向

従来、電子ファイルシステムを導入したが、システムの設置場所まで、足を運ぶ必要があり、利用が進まないという問題があった。また、OA化の推進において、紙で保管してある情報をどう活用するかという問題があった。

当ツールは、Macintoshを電子ファイルシステムとLANで接続することによって、遠隔地から検索、参照、プリント出力が可能になる。既存の電子ファイルシステムの効果的活用や電子ファイルシステムとの組み合わせによって、以下に示すようなOA化支援ができる。

- (1) 図面管理システムとの連携により、遠隔地のMacintoshから図面内容を確認したり、出力する。
- (2) 手書きの技術情報の一元管理とMacintoshへの取り込みによる再利用(パソコン上での切り貼り)。
- (3) 手書きしかできないイラストを含んだ品質情報管理。

## 5 おわりに

当製品は、1995年1月に完成した製品である。

開発段階より、Macintoshユーザー数社の引き合いがあり、好評をいただいている。

電子ファイルシステムの利用は、多様なニーズがあり、これらのニーズにも応えるべく、当ツールをベースとした個別のシステム改造を行い、より付加価値の高いシステムを提供し、お客様の期待に応えていく所存である。

### <問い合わせ先>

川鉄情報システム(株) 基盤システム事業部  
メディアシステム部  
Tel 03(5546)2210 Fax 03(5546)2193